

総体でも頑張るスタイル!

5月8日の全校応援では、陸上競技の応援で1学年が午前中、2学年が午後最後まで山梨中銀スタジアムのスタンドに残り、選手も応援生徒も一枚岩で勝利を目指した巨摩高でした。

団体の部 ●男子陸上競技…第2位 ●野球…ベスト16 ●男子弓道…第3位 ●女子テニス…第3位 ●山岳…ベスト8
●女子バレーボール…6位 ●女子陸上競技…第4位 ●女子弓道…第4位 ●女子バスケットボール…ベスト16

個人の部 女子弓道…●優勝 鈴村 葵 ●準優勝 杉山 彩乃 **新体操**…●個人総合第2位 渡邊 桃花

●個人の部[陸上]

男子200m	村田 翔哉(6位)	男子400mH	中込 諒一(2位)	女子400m	毛利 来夢(2位)	女子走高跳	東海林 幸(2位)
男子400m	酒井 凌佑(3位)	男子3000mSC	中込 空(1位)	女子100mH	牛山 亜実(2位)	女子棒高跳	三吉 里緒(1位)
男子800m	酒井 凌佑(1位)	男子4x400mR	秋山 拓朗・村田 翔哉 中込 諒一・酒井 凌佑	女子400mH	牛山 亜実(3位)	女子走幅跳	土屋 ゆい(5位)
男子1500m	中込 空(2位)	男子棒高跳	飯野 隼斗(2位)	女子4x100mR	(4位)	女子三段跳	河野 弘江(3位)
男子5000m	中込 空(6位)	男子4x400mR	中嶋 洸介(3位)	女子4x400mR	(4位)	女子七種競技	東海林 幸(1位)
男子110mH	上野 翔真(3位)	男子八種競技	井上 颯太(6位)				
	佐野 飛向(4位)		柳澤晋太郎(1位)				
	中込 諒一(5位)						

東海林 幸(2年)【八田中学出身】

同じ部の仲間には負けないという意識を常に持って、練習に取り組んできました。顧問の先生から良くない点を指摘されるたびに、きちんと修正するように心がけました。総体前日に左足首をねんざしてしまい、痛みがある中で当日競技に臨みました。しかし、練習したときのイメージで競技した結果、自己ベストは出せませんでした。7種競技では1位、走り高跳びで2位を取ることが出来てよかったです。関東大会では自己ベストを更新して6位以内に入賞し、インターハイ出場できるよう頑張ります。



酒井 凌佑(3年)【八田中学出身】

私は周りよりも少しでも多く量をこなせるようにしていました。また一緒に走ったりしてくれる仲間がいてくれてレースへの意識を上げることができました。総体当日は、よい結果を想像し、落ち着いた気持ちでスタートラインに立ちました。一番苦しかったのは、400m、800m両方ともラスト50メートルでした。思うように足が動かなくなってしまったり、腕が振れなくなり、苦しかったのが記憶に残っています。関東大会では、自分の出場する全種目で自己ベストを出し、特に自分の専門種目である800mでは予選を勝ち抜き、インターハイへ駒を進められるように、一生懸命頑張りたいと思います。



杉山 彩乃(2年)【甲西中学出身】(写真右)

GWも合宿や練習試合を組み、総体前は特に「質の高さ」を意識して練習に打ち込んできました。当日は多少緊張しましたが、普段の練習で培った「自分の射」を出せるように自分を信じて挑みました。上位トーナメントでは一本差で負けてしまいました。緊迫した空気の中で弓を引くのは苦しく、後悔もありましたが、楽しさも感じる事ができました。部の目標でもある「正射必中」を意識して、県代表として、関東大会でも誇らしい弓を一本でも多く引きたいと思っています。



秋山 颯良(3年)【白根巨摩中学校出身】(写真右)

私達はチームで射の形を見て直し合ったことや、チーム内での中勝負を行って総体への意識を高めてきました。弓や矢の整備にも細心の注意を払いましたが、予選では普段通りの力が発揮できず、正直トーナメントにかろうじて残った感じでした。親や先生の支えがあったからこそその3位入賞なので、関東大会では気持ちを改めて、より上位に入れるように練習を積み重ねていきたいと思っています。



スタートしました! 新年度!!



4月7日始業式、8日入学式、令和元年を迎える本年度は全校生徒669名でスタート。本業である授業はもちろん、公開授業、吹奏楽部のフロントコンサート、定期演奏会、箏曲部の訪問演奏など、今年度も地域に根ざした巨摩高の活動が始まりました。

進学先を巨摩高に決めた理由は何ですか。

石原くん 僕は中学生のときから陸上競技でハードルをやっていました。巨摩高はリオオリンピック出場の野澤啓佑選手の母校であり県内で陸上の強豪校で、陸上を続けたいと思ったからです。

大野さん 将来理系の大学進学を考えていて、「理数創造コース」が自分の学力と合っていると思ったからです。

部活や学習に熱心に取り組んでいる1年生に学校生活について聞いてみました。

白根巨摩中学校出身 大野 明海 さん
甲西中学校出身 石原 秀星 君



授業や部活の様子は。

石原くん 授業は内容がたくさんで週末課題もあります。学習時間を確保するために、時間の使い方を中学よりも考えるようになりました。部活では、選手一人一人が自分たちで決めたメニューに自主的に取り組んでいます。

大野さん 進むのが速く内容が難しくなっています。でも先生方は分からないところ丁寧な教えてください。私は吹奏楽部ですが、楽しく、皆一生懸命練習しています。

担任の先生はどんな感じですか。

石原くん 担任の熊王和彦先生は言葉遣いが丁寧で、細かいところにも気がつく生徒思いの先生です。

大野さん 担任の小宮山晴香先生は、いつも明るく元気があり、クラス一人一人のことを考えてくれています。

今後の目標を教えてください。

石原くん 勉強では定期テストでクラスの成績上位に入るように努力したいと思います。部活ではインターハイ出場と入賞を目指したいです。

大野さん 勉強で分からないところをそのままにせず、疑問はその日のうちに先生や友だちに聞くようにして、よい成績を取るようにしたいです。部活では先輩たちのように、表情豊かな演奏ができるようになりたいです。

米国研修2019 The USA Study Trip 2019

今春3月10日(日)から16日(土)までの1週間、本校姉妹校であるセントラルキャンパス校(Central Campus School, Des Moines, Iowa, U.S.A. アメリカ合衆国アイオワ州デモイン市)などに16名の生徒が研修に行き、無事帰国しました。姉妹校では、ホームステイ先の生徒と一緒に現地の公立高校の授業に参加し、放課後からはホストファミリーやクラスで新しくできた友達たちと楽しい時間を過ごしました。研修最終日には、巨摩高校で学習した課題研究について発表を行い、また、折り紙や着物などの日本文化について姉妹校生徒や保護者に紹介しました。1週間はあっという間でしたが、様々な経験をし、今までとは違った視点で物事を見ることができるようになりました。帰国の日、空港で泣きながら別れを惜む姿からも、この研修がかけがえのないものであったということが分かりました。これからもこの米国研修が、本校生徒の国際人としての自覚を促し、「考える力と表現力」を鍛える体験の場、互いに支え合う集団を作る機会となることを願っています。



巨摩高ボランティア報告 KOMA volunteer

書き損じハガキで子どもを学校へ — ユネスコスクール活動 —

書き損じハガキ11枚で、途上国では子どもが1ヶ月、学校に通うことができると言われます。「ユネスコ世界寺子屋運動」として例年、本校でも書き損じハガキを学校で集めてユネスコに送っています。今年、5月19日付で、日本ユネスコ協会連盟から感謝状を頂きました。

コンタクトレンズ空ケースをリサイクルへ

使い捨てコンタクトレンズの空ケースは、再生素材に変えることで、リサイクル製品として生まれ変わります。売却代金はアイバンクに寄付されます。また空ケース1箱燃やさない、ガソリン乗用車1km走行時と同排出量のCO2を削減することにもなります。生徒会でリサイクル活動として、コンタクトレンズ取扱店のecoプロジェクトに参加しました。生徒昇降口に回収ボックスとポスターを設置、職員室や事務室にも回収ボックスを設置し、提供を呼びかけた結果、12,500個(重さ12.5kg)の空ケースを集めることが出来ました。そして取扱店から感謝状を頂きました。



New teacher

新任先生紹介 平井大資先生(生物)

今年度から巨摩高に赴任しました。



巨摩高校の印象は?

私は郡内地域の出身で、今までの勤務も全て郡内だったため巨摩高校はどのような学校か、ほとんど知らない状態で赴任しました。まず驚いたのは敷地の広さです。ロータリーや駐車場、テニスコートにグラウンド、体育館やプールまで。部活動や各種行事等、生徒にとって、ゆとりのある生活を送ることができると感じました。その生徒達と関わる中で、少し落ち着いた子が多いかなという印象を受けます。もっとのびのびと自信を持つていいのではないかと感じています。

どんな授業をしていますか?

2年生の生物基礎と生物探求を担当しています。基本的に授業は、気持ちの良い風が良く通る生物実験室で行っています。また、同じ部屋でベットの蛇を飼育しています。大型のテレビが常設されているので、パソコンの画面を写したり、提示装置で写したものを投影したりと、映像を見せながら授業を行っています。生物を学ぶ中で、生徒と一緒に楽しみながら授業をしています。

どんな高校時代を過ごしましたか?

好きな科目は、数学と生物でした。この授業は、ゲームをするより美味しいものを食べる事より好きでした。予習して授業に臨み、先生に当てられて答えることができたときや難しい問題が解けた時の快感に溺れていました。部活動は弓道部に所属し、朝練から始まり、放課後練習、練習後も一人残って練習していました。誰よりも多く弓を引いた自信があります。今、また弓道部の顧問として弓道に携われることをとても幸せに感じています。

顧問をしている部活動は?

弓道部です。今、とても幸せです。今までは、サッカー部、ソフトボール部、バスケット部、バレー部、ハンドボール部の5種類の顧問を経験しました。経験の無い運動部の顧問は新鮮さも楽しかったのですが、やはり専門の競技を持てることに嬉しさを隠し切れずにいます。巨摩高校の弓道部は伝統があり、実績もある部活です。顧問として力不足な面はありますが、弓道に対する愛情は人一倍だと自負しています。これからも部員達と一緒に弓道を楽しみたいと思います。

生徒たちにメッセージを

一度しかない高校生活。全力で何事も挑んでもいいと思います。何か一つでも手を抜いているとその部分に自信が持てなくなります。良くも悪くも人生において大きく影響をあたえる3年間。勉強に部活、恋愛に各種行事、休日の過ごし方。どれも手を抜いていい場合ではないと思います。間違ってもいいので、今しかできない「青い春」を全力で過ごすべきだと思います。